

慶應義塾大学所蔵古文書目録

武家文書 相良家

2008年 3月

慶應義塾大学古文書室

凡 例

1. 本目録は、慶應義塾大学が所蔵する古文書のうち、肥後相良家文書（1977年度重要文化財指定）を収めた。本文書は、1957年に慶應義塾大学が相良家より購入したものであり、三田メディアセンターに収蔵されている。
2. 本目録は、高度情報化推進特別経費・教育学術コンテンツ・教育学術情報データベース等の開発計画（平成15年度～19年度）による「慶應義塾大学所蔵古文書デジタル検索システム」（作成担当者：慶應義塾大学大学院文学研究科教授・田代和生）の成果の一部である。本目録に掲載されている情報は、すべて「慶應義塾大学所蔵古文書デジタル検索システム」によって検索が可能である。
3. 本目録は、慶應義塾大学文学部准教授中島圭一氏および同非常勤講師丸島和洋氏による調査成果を下敷きにしている。
4. 本目録は、はじめに三田メディアセンターにおける保管番号順の目録を記し、次に分類順の目録を記した。保管番号は、近世相良家による整理を踏まえ、文化庁文化財保護部美術工芸課（『相良家文書目録』、1977年）が付した番号を元としている。附録として、編年目録を付した。編年目録においては、後補の包紙等（分類131. C・D）は除外した。
5. 寄託と記されている文書は、慶應義塾大学が相良家より寄託されたものである。
6. 史料の分類は、古文書室の作成した「武家文書分類項目」にしたがった。史料の配列に際しては、各分類ごとに年代順に番号を付した。
7. 表題は概ね古文書学的な名称を付し、（ ）を用いて表記した。内容を注記する場合は、[]で概要を付した。原表題（表紙外題・柱書）を表題として採用した場合はそのまま記述し、内容を注記する際に（ ）を用いた。
8. 年月日は和年号で記し、算用数字を用いて表記した。干支は年号の記載を欠く場合のみ採録した。史料内容から年代が推定できる場合は、（ ）で表記した。大まかな年代が推定出来るものについては、下記の区分にしたがって時代区分を注記し、それぞれの末尾にまとめて配列した。年代の推定が困難なものについては、江戸時代のものとして配列した。

鎌倉時代	～元弘3年（1333）
南北朝時代	～明德3年（1392）
室町時代	～明応2年（1493）
戦国期	～天正14年（1586）
豊臣期	～慶長4年（1599）
中世	～慶長4年（1599）
江戸時代	～慶応3年（1867）
近代	明治元年（1868）～

9. 差出・作成、宛先は可能な限り原表記のまま採録した。花押・草名は（花押）（草名）、印は（朱印）（黒印）等と記し、印文の判読ができるものについては印文も記した。
10. 判読不能な部分は、一文字の場合は□、数文字にわたると判断される場合には[]を用いて示した。なお[虫くい][破れ]という形で理由を示した場合がある。

11. 形態は、冊子を縦帳・横帳・小横、一紙を縦紙・切紙・縦切紙・折紙・続紙・短冊・卷子・綴に分類した。絵図類は図、封紙・包紙・紙袋の場合は封、古文書以外の史料については器物と表記した。
12. 法量は、縦×横の長さをcm単位で表記した。史料に複数枚の料紙が用いられている場合は、丸数字を用いて何紙目であるかを示した。
13. 備考欄には、史料の形態的特徴や一括状況を記した。
14. 料紙は、斐紙・宿紙・檀紙と判断された場合のみ備考欄に記し、楮紙の場合は記載を省略した。
15. 封はその文書の本来のものである場合に封紙、後補と判断された場合に包紙と記した。包紙のうち、袋状のものについては紙袋と表記した。
16. 保管番号を記す際には、各抽斗の呼称を用いて、子（番号）、丑（番号）などと略記した。子・戌・亥については、第一・六号函と第七号函の双方に同じ名称の抽斗が存在するため、第七号函の場合のみ七子・七戌・七亥と表記した。
17. 『相良』欄には、『大日本古文書家分け第五 相良家文書』（東京大学出版会）における文書番号を記した。
18. 本目録の作成にあたっては、慶應義塾大学三田メディアセンター貴重書室・文学部准教授中島圭一氏の御高配と御協力を賜った。記して感謝申し上げます。

2008年3月

慶應義塾大学古文書室

慶應義塾大学古文書室・武家文書分類項目

(2004. 3. 18作成)

	大分類	内容・具体例など
101	法令・達書	法度・条目 壁書・沙汰書・藩律 触留・達留 制度
102	知行・俸禄	知行宛行状 御判物・領地目録 扶持・切米
103	領地支配	所領 租税・検地 国役 民政全般
104	巡見・測量	公儀役人下向・伊能図・巡見使・郷村調査・測量
105	戸口	人別帳・戸籍
106	家系	系譜・家譜 親類書 家史編纂・履歴 過去帳 系図
107	相続	家督相続 諸届(養子・分家など)
108	家臣	分限帳 土譜・先祖書 奉公帳
109	役職・官位	人事・任免・辞令・召状 位記・口宣案 賞罰 誓詞
110	勤仕	藩庁日誌 公務日記 公用書状 廻状 職務・規式 献上・拝領
111	軍事	調練・軍役・海防・警衛
112	情報	風聞書・風説書 一件記録 落書・落首 飛脚 瓦版 新聞
113	土木・建築	普請帳・屋敷帳・建材 治水・治山
114	治安	盗難・殺害・刑事全般 火災 警察
115	訴訟	公事・争論 裁判 評定所 地方訴訟
116	財政	出納帳 家計簿 請取 拝借金 知行借上 資産管理
117	金融	貸借 両替 銀行
118	事業・経営	専売 鉱山経営 農林水産業 雇用 実業・商売・授産 地主経営 会社
119	交通・運輸	人足・宿場・廻船・駄賃 公用道中
120	宗教	寺社 参詣 勸化 キリシタン
121	冠婚葬祭	縁組・葬式・法事 通過儀礼 祭祀
122	建白・意見	建白書 目安・意見書・上書
123	武芸・兵学	兵書 免許 武器 鷹狩
124	学芸	入塾・学校 留学 奨学金 画業・歌舞音曲 作句・歌詠・随筆
125	蔵書	写本・版本 武鑑・官員録・雲上名鑑 屏風・掛け軸 蔵書目録 道具帳
126	生活・書簡	私日記 家族書簡 旅行 趣味 飲食 贈答(勤仕に入らないもの)
127	医療・衛生	病氣・治療 薬
128	外国	外交・貿易 漂流民 居留地 国際関係
129	団体結社	士族結社・華族会館・政党
130	絵図	殿中図・城中図・屋敷図 村絵図 道中図
131	雑	
199	その他	

目 次

〔保管番号順〕

第一号函	子	1
第一号函	丑	9
第二号函	寅	23
第二号函	卯	35
第三号函	辰	43
第三号函	巳	46
第四号函	午	48
第四号函	未	67
第五号函	申	72
第五号函	酉	78
第六号函	戌	81
第六号函	亥	83
第七号函	子	87
第七号函	戌	93
第七号函	亥	99
第八号函	一	104
第八号函	二	106
第九号函		112
別置包紙類		116
寄託分		122

[分類番号順]

101.	法令・達書	123
102.	知行・俸禄	123
	A. 鎌倉幕府	123
	B. 建武政権	124
	C. 室町幕府	124
	D. 南朝	125
	E. 菊池家	126
	F. 豊臣政権	126
	G. 江戸幕府	126
	H. 江戸幕府 (椎葉・米良山)	127
	I. その他	128
103.	領地支配	128
	A. 荘園	128
	B. 領内仕置	129
	C. 新田開作	130
106.	家系	130
	A. 古記録	130
	B. 家譜	131
	C. 系図	132
	D. 他家系図	134
	E. 過去帳	134
	F. 相伝鎧・太刀由緒	134
	G. その他	136
107.	相統	136
108.	家臣	138
109.	役職・官位	140
	A. 宣旨・口宣案・位記	140
	B. その他	142

110. 勤仕	146
A. 南朝	146
B. 室町幕府	146
C. 近衛家	146
D. 豊臣政權	147
E. 江戸幕府	149
F. 江戸幕府 (端午祝儀)	151
G. 江戸幕府 (重陽祝儀)	153
H. 江戸幕府 (歳暮祝儀)	155
I. 藩政・家政	156
111. 軍事	157
A. 鎌倉幕府	157
B. 建武政權	158
C. 南朝	158
D. 室町幕府	158
E. 菊池家	163
F. 大内家	165
G. 大友家	166
H. 阿蘇家	173
I. 名和家	174
J. 毛利家	175
K. 島津家	176
L. 諸家	179
M. 家中軍役	182
N. 豊臣政權	185
O. 江戸幕府	191
P. 明治政府	191
113. 土木・建築	191
A. 江戸屋敷	191
B. 球磨城	192

	C. 江戸両国橋	196
114.	治安	196
115.	訴訟	196
	A. 所領相論	196
	B. 家中統制	198
	C. 椎葉山住人逃散	199
116.	財政	199
118.	事業・経営	200
119.	交通・運輸	200
120.	宗教	200
121.	冠婚葬祭	202
123.	武芸・兵学	207
124.	学芸	207
125.	蔵書	212
126.	生活・書簡	212
128.	外国	214
130.	絵図	214
131.	雑	216
	A. 重宝	216
	B. 封紙	216
	C. 包紙	217
	D. その他	224

[編年]

鎌倉時代	225
南北朝時代	228
室町時代	233
戦国期	235
豊臣期	254
江戸時代	263
近代	282

相良家文書目録（保管番号順）

第一号函 子

抽斗題箋「頼景公、長頼公、頼俊公、頼広公、定頼公、前頼公」

No.	表題	年月日	差出・作成	宛先	形態	法量	備考	分類	『相良』
1	(源頼朝善光寺参詣随兵日記)	建久8年3月23日			続紙	①29.3×41.2 ②29.3×39.7	後補別紙挟込み、包紙二重	111A	1
2	(肥後国球磨郡田数領主等目録)	建久8年閏6月			続紙	①29.2×41.6 ②29.2×42.1		103A	2
3	(関東下知状案)[相良永頼地頭職補任]	元久2年7月25日	遠江守平朝臣(北条時政)御判	肥後国球磨郡内人吉庄	縦紙	29.6×41.6	元弘3年8月21日付相良頼広奥裏書あり、包紙二重	102A	3
4	(関東下知状写)[相良永頼地頭職補任]	元久2年7月25日	遠江守平朝臣(北条時政)	肥後国球磨郡内人吉庄	縦紙	31.6×45.5	子3包紙に一括。裏書花押は貼紙。	102A	3写
5	(関東下知状)[相良頼重・相良長頼所領并遺物相論]	寛元元年12月23日	武蔵守平朝臣(北条経時)(花押)		続紙	①31.3×50.1 ②31.3×51.0 ③31.3×50.1	紙継目裏花押、裏打	115A	5
6	(人吉庄起請田以下中分注進状)	寛元2年5月15日	惣公文藤原真憲(花押)、田所草部高元(花押)、納所代藤井延重(裏花押)、政所平守員(花押)、沙弥蓮仏(相良長頼)(花押)		続紙	①31.9×53.4 ②31.9×53.6 ③31.9×54.0 ④31.9×54.0 ⑤31.9×54.0 ⑥31.9×53.7 ⑦31.9×53.5 ⑧31.9×25.5	紙継目裏花押(相良長頼)、裏打、紙軸	103A	6
7	(相良蓮仏(長頼)譲状)	寛元4年3月5日	沙弥蓮仏(相良長頼)(花押)	(相良)六郎頼利(頼俊)所	続紙	①29.6×45.5 ②29.6×45.5 ③29.6×43.5	紙継目裏花押(相良長頼)、裏打	107	7
8	(相良蓮仏(長頼)譲状)	寛元4年3月5日	沙弥蓮仏(相良長頼)(花押)	(相良)九郎頼員所	続紙	①31.0×48.0 ②31.0×49.1 ③31.0×49.1	紙継目裏花押(相良長頼)、紙軸	107	8
9	(相良蓮仏(長頼)譲状)	寛元4年3月5日	沙弥蓮仏(相良長頼)(花押)	(平)藤二水綱所	続紙	①31.2×48.1 ②31.2×47.6	紙継目裏花押(相良長頼)、裏打	107	9
10	(藤原頼嗣袖判下文)[相良長頼地頭職補任]	宝治3年3月27日	(藤原頼嗣花押)	豊前国上毛郡内成恒名住人	縦紙	34.5×55.6	裏打	102A	10
11	(藤原頼嗣袖判下文案)[相良長頼]	宝治3年3月27日	(藤原頼嗣)	豊前国上毛郡内成恒名住人	縦紙	33.6×50.2	校正案文、継目裏花	102A	10写

	頼地頭職補任]						押(相良長氏)、裏打、紙軸		
12	(関東下知状)[尼妙蓮代相良頼氏・相良頼重所領相論]	建長元年7月13日	相模守平朝臣(北条時頼)(花押)、陸奥守平朝臣(北条重時)(花押)		続紙	①32.8×50.3 ②32.8×54.7 ③32.8×54.3 ④32.8×52.4	切封、端裏墨引、継目裏花押、裏打、紙軸	115A	11
13	(相良蓮仏(長頼)譲状)	建長3年3月22日	沙弥蓮仏(相良長頼)(花押)	(相良)六郎頼俊所	縦紙	31.1×48.8		107	12
14	(相良蓮仏(長頼)譲状案)	建長3年3月22日	沙弥蓮仏(相良長頼)	(相良)六郎頼俊所	縦紙	34.0×50.3	校正案文、端裏書、裏打	107	12写
15	(鎌倉幕府将軍家政所下文)[地頭職安堵]	正嘉元年9月14日	案主清原、知家事清原、令左衛門少尉藤原、別当相模守平朝臣(北条政村)(花押)、武蔵守平朝臣(北条長時)(花押)	藤原(相良)頼俊法師(法名迎蓮)	縦紙	33.9×53.2	裏打	102A	14
16	(鎌倉幕府将軍家政所下文)[所領安堵]	正嘉元年9月14日	案主清原、知家事清原、令左衛門少尉藤原、別当相模守平朝臣(北条政村)(花押)、武蔵守平朝臣(北条長時)(花押)	藤原(相良)頼員	縦紙	34.0×53.8	裏打	102A	15
17	(人吉庄南方経徳名・常楽名田数得田米等実檢注進状)	正元2年5月	惣公文、政所代僧兼宗(花押)、地頭沙弥迎蓮(相良頼俊)(花押)、預所左衛門尉中原遠盛(花押)		続紙	①28.9×44.6 ②28.9×45.2	紙継目裏花押(相良頼俊・中原遠盛・僧兼宗)、裏打	103A	17
18	(人吉庄南方経徳名・常楽名田付雑物并夏物注進状)	正元2年5月	惣公文、政所代僧兼宗(花押)、地頭沙弥迎蓮(相良頼俊)、預所左衛門尉中原遠盛(花押)		続紙	①29.8×45.1 ②29.8×46.3	紙継目裏花押(相良頼俊・中原遠盛・僧兼宗)、裏打	103A	18
19	(尼妙阿譲状)	文永6年10月10日	あまめうあ(花押)	六郎にうたう(相良頼俊)のところ	縦紙	30.3×43.9	裏打	107	22
20	(尼妙阿譲状案)	文永6年10月10日	あまめうあ	六郎にうたう(相良頼俊)のところ	縦紙	33.5×50.8	校正案文、裏打	107	22写
21	(相良迎蓮(頼俊)譲状)	弘安10年5月2日	沙弥迎蓮(相良頼俊)(花押)	(相良)三郎長氏所	続紙	①30.3×46.0 ②30.3×44.8	紙継目裏花押(相良頼俊)	107	24
22	(相良迎蓮(頼俊)譲状)	弘安10年5月2日	沙弥迎蓮(相良頼俊)(花押)	宇葉伊路所	縦紙	30.4×46.2		107	25
23	(相良迎蓮(頼俊)譲状案)	弘安10年5月2日	沙弥迎蓮(相良頼俊)	宇葉伊路所	縦紙	33.8×49.8	校正案文、裏打	107	25写
24	(相良迎蓮(頼俊)田地坪付在家注文)	弘安10年5月2日	沙弥迎蓮(頼俊)(花押)	宇葉伊路所	続紙	①30.3×45.7 ②30.3×45.7	紙継目裏花押(相良頼俊)	107	26

25	(相良迎蓮(頼俊)田地坪付在家注文案)	弘安10年5月2日	沙弥迎蓮(相良頼俊)	宇葉伊路所	続紙	①33.6×48.4 ②33.6×49.8	校正案文、紙継目裏花押(相良長氏)、裏打、紙軸	107	26写
26	(相良迎蓮(頼俊)讓状)	正応3年5月8日	迎蓮(相良頼俊)(花押)	次郎頼季所	豎紙	33.9×49.8	裏打	107	27
27	(相良迎蓮(頼俊)讓状)	正応3年5月8日	迎蓮(相良頼俊)(花押)	字うはいろか所	豎紙	33.8×49.2	裏打	107	28
28	(相良迎蓮(頼俊)讓状案)	正応3年5月8日	迎蓮(相良頼俊)	字うはいろか所	豎紙	33.6×50.8	校正案文、裏打	107	28写
29	(宇葉伊路所領具書目録)	正応3年7月12日	(相良)長氏(花押)		豎紙	27.2×45.3	裏打	107	29
30	(関東御教書)[異賊合戦勲功]	正応5年12月1日	陸奥守(大仏宣時)(花押)、相模守(北条貞時)(花押)	相良六郎入道(頼俊)跡	豎紙	33.2×52.5	裏打	111A	30
31	(関東御教書)[異賊合戦勲功]	正応5年12月1日	陸奥守(大仏宣時)(花押)、相模守(北条貞時)(花押)	相良九郎入道(頼員)殿	豎紙	33.4×52.5	裏打	111A	31
32	(人吉庄南方松延名田数得田米付雑物等実檢注進状)	徳治2年3月	惣公文僧永順(花押)、惣政所右衛門尉藤原盛員(花押)、地頭藤原(相良)頼広(花押)、雑掌僧道円(花押)、預所良峯師種(花押)、領家御代官沙弥浄善(花押)		続紙	①30.1×41.0 ②30.1×42.6 ③30.1×42.6 ④30.1×42.3	紙継目裏花押(沙弥浄善・相良頼広・良峯師種・僧道円・藤原盛員・僧永順)	103A	37
33	(相良蓮道(長氏)置文)	延慶4年2月25日	しやまれんたう(相良長氏)(花押)		続紙	①32.8×48.9 ②32.8×49.5 ③32.8×49.6 ④32.8×49.4 ⑤32.8×49.4	奥に延慶4年3月5日付長氏追記あり、紙継目裏花押(相良長氏)	107	39
34	(鎮西下知状)[相良頼幸・相良長氏等得分相論]	正和2年8月2日	前上総介平朝臣(北条政顕)(花押)		豎紙	33.1×52.3	裏打	115A	41
35	(鎮西下知状)[相良長氏代・日向穂北庄地頭相論]	正和2年8月4日	前上総介平朝臣(北条政顕)(花押)		豎紙	33.1×52.1	裏打	115A	42
36	(平政国・沙弥某連署奉書)[相良頼広地頭職安堵]	嘉暦元年10月25日	沙弥(花押)、平(政国)(花押)	謹上 大和右近将監殿	豎紙	31.1×42.7 封41.9×30.1	折封	102A	47
37(0)	(尼妙阿代道観申状并具書案)	嘉暦元年10月	蓮仏(相良長頼)女子尼妙阿代道観		続紙	①29.8×36.1 ②30.1×42.4 ③30.3×40.8 ④30.4×42.8	裏打	115A	48(0)
37(1)	(尼妙阿代道観申状)	嘉暦元年10月	蓮仏(相良長頼)女子尼妙阿代道観				4紙中の第1紙	115A	48(1)
37(2)	(相良頼氏等連署避状案)	建長4年3月25日	藤原(相良)頼俊在判、藤原	牛御前(妙阿)ところ			4紙中の第2紙	115A	48(2)

			(相良)頼貞在判、藤原(相良)頼氏在判						
37(3)	(鎌倉幕府將軍家政所下文案)	正嘉元年9月14日	案主清原、知家清原、令左衛門尉藤原、別当相模守平朝臣(北条政村)在御判、武藏守平朝臣(北条長時)在御判	藤原氏字牛				4紙中の第3紙	115A 48(3)
37(4)	(尼妙阿讓状案)	文保2年4月26日	あまめうあ(尼妙阿)ありはん	あさなあや(字阿夜)かところ				4紙中の第4紙	115A 48(4)
38	(肥後守護規矩高政施行状)[尼妙阿地頭職安堵]	嘉暦2年5月10日	掃部助(規矩高政)(花押)	相良六郎三郎入道(長氏)殿	堅紙	32.4×43.1		奥裁断、裏打	102A 49
39	(相良頼広讓状)	正慶2年閏2月26日	藤原(相良)頼広(花押)	孫子孫鶴(相良定頼女)所	堅紙	33.2×52.9		全文一筆カ、裏打	107 52
40	(相良頼広着到状)	元弘3年6月14日	藤原(相良)頼広(裏花押)、「奏聞候了(少式貞経袖花押)」	進上 御奉行所	堅紙	32.4×51.1			111B 53
41	(相良頼広着到状)	元弘3年6月14日	藤原(相良)頼広(裏花押)、「承候了(少式貞経花押)」	進上 御奉行所	堅紙	32.3×51.7		裏打	111B 54
42	(相良朝氏・同祐長連署着到状)	元弘3年6月14日	藤原(相良)祐長(裏花押)、藤原(相良)朝氏(裏花押)、「承候了(少式貞経花押)」	進上 御奉行所	堅紙	32.5×51.6		裏打	111B 55
43	(尊良親王令旨)[軍勢催促]	元弘3年6月16日	大神(盛栄)(花押)	相良六郎三郎入道(長氏)殿	堅紙	31.9×45.7 封45.0×31.3		折封	111B 56
44	(尊良親王令旨案)[軍勢催促]	元弘3年6月16日	大神(盛栄)	相良太郎二郎入道殿	堅紙	32.2×45.6			111B 56写
45	(官宣旨案)[肥後国所領安堵]	元弘3年7月26日	(左)大史小槻宿禰、(左)少弁藤原朝臣(中御門宣明)	大宰府	堅紙	31.3×49.8			102B 57
46	(官宣旨案)[豊前国所領安堵]	元弘3年7月26日	(左)大史小槻宿禰、(左)少弁藤原朝臣(中御門宣明)	大宰府	堅紙	31.3×48.0			102B 58
47	(相良祐長着到状)	元弘3年10月29日	藤原(相良)祐長(裏花押)、「承了(足利尊氏花押)」	進上 御奉行所	堅紙	31.9×49.8		判紙カ、裏打	111B 59
48	(相良頼広着到状)	建武元年7月28日	藤原(相良)頼広(裏花押)、「承候了(花押)」	進上 御奉行所	堅紙	33.0×52.8		裏打	111B 68
48(1)	(相良頼広領家年貢上納契約状)	建武元年3月19日	藤原(相良)頼広(花押)		堅紙	40.9×43.5		裏打	103A 67
49	(相良頼広着到状案)	建武元年7月28日	藤原(相良)		堅紙	26.3×44.2		紙背に文字あり、裏打	111B 68写
50	(相良頼広着到状)	建武元年7月28日	藤原(相良)頼広(裏花押)、「承候了(花押)」	進上 御奉行所	堅紙	32.3×55.9			111B 69

51	(相良祐長着到状)	建武元年7月28日	藤原(相良)祐長(裏花押)、「承候了(花押)」	進上 御奉行所	豎紙	33.1×52.6	裏打	111B	70
52	(豊前肥後守護少貳頼尚施行状) 〔軍勢催促〕	建武2年12月23日	大宰少貳(頼尚)(花押)	相良八郎(定頼)殿	豎紙	31.0×42.6	裏打	111D	71
53	(相良定頼代成恒松石丸軍忠状)	建武4年10月21日	大藏(成恒)松石丸上、「承了(花押)」	進上 御奉行所	豎紙	30.6×45.5	裏打	111D	77
54	(相良蓮道(長氏)讓状)	建武5年7月6日	れんたう(相良長氏)(花押)	しそく(子息)ぬいととのせう助長(相良祐長)とことろ	豎紙	32.7×51.3	裏打	107	79
55	(肥後守護少貳頼尚遵行状)〔肥後人吉庄北方沙汰仕付〕	建武5年8月13日	(少貳)頼尚(花押)	守護代	豎紙	32.7×49.2	裏打	102C	80
56	(相良定頼申状士代)〔本領等安堵申請〕	建武5年8月	相良兵庫允定頼		続紙	①32.2×43.5 ②32.2×59.5	裏打	102C	82
57	(相良蓮道(長氏)讓状)	暦応2年8月5日	沙弥蓮道(相良長氏)(花押)	ちやくそん(嫡孫)ひやうこのせうさたより(相良定頼)かところ	豎紙	32.6×51.1	裏打	107	83
58	(相良蓮道(長氏)讓状)	暦応2年8月5日	沙弥蓮道(相良長氏)(花押)	ちやくそん(嫡孫)ひやうこのせうさたより(相良定頼)かところ	豎紙	35.0×48.4	裏打	107	84
59	(九州探題一色範氏御教書)〔地頭職宛行〕	暦応2年12月17日	沙弥(一色範氏)(花押)	相良兵庫允(定頼)殿	豎紙	32.3×51.1	裏打	102C	85
60	(相良蓮道(長氏)讓状)	暦応3年4月25日	沙弥蓮道(相良蓮道)(花押)	嫡孫兵庫允定頼所	豎紙	33.1×46.2	裏打	107	87
61	(九州探題一色範氏御教書)〔軍勢催促〕	暦応3年6月24日	沙弥(一色範氏)(花押)	相良六郎三郎(長氏)殿	豎紙	28.7×41.9	裏打	111D	90
62	(少貳頼尚奉書)〔城郭警固指示〕	暦応3年12月10日	大宰少貳(頼尚)(花押)	相良八郎(景宗)殿	豎紙	29.6×41.4		111D	105
63	(足利直義御判御教書)〔關所地注進指示〕	暦応4年5月29日	(足利直義花押)	太宰少貳(頼尚)殿	豎紙	31.7×49.3		120	109
64	(足利尊氏寄進状)	暦応4年12月20日	権大納言源朝臣(足利尊氏)	筑前国景福寺々院	豎紙	34.7×54.6	裏打	120	110
65	(相良経頼書状)〔少貳頼尚書状送付〕	(康永2年)8月3日	(相良)経頼	(相良)兵庫允(定頼)殿	続紙	①30.5×47.4 ②30.5×48.6	裏打	111D	116
66	(少貳頼尚奉書)〔軍忠認定〕	貞和2年12月3日	大宰少貳(頼尚)(花押)	相良八郎(景宗)殿	豎紙	29.0×42.0	裏打	111D	127
67	(少貳頼尚奉書)〔田地預置〕	貞和3年9月12日	大宰少貳(頼尚)(花押)	相良兵庫允(定頼)殿	豎紙	32.2×51.1	裏打	102C	128
68	(中院定平ヵ所領安堵状)	正平2年11月12日	(花押)		切紙	10.1×23.9	包紙	102D	129
69	(少貳頼尚書状)〔年始挨拶・軍勢〕	(南北朝)1月13日	(少貳)頼尚	相良兵庫允(定頼)殿	豎紙	31.1×47.9	折封	111D	132

	催促]					封49.2×30.8			
70	(少式頼尚書状)[使僧人吉下向]	(南北朝)3月29日	(少式)頼尚	相良兵庫允(定頼)殿	堅紙	28.3×41.4 封41.5×27.4	折封、裏打	110B	133
71	(少式頼尚書状)[所領預置]	(南北朝)6月23日	(少式)頼尚	相良兵庫允(定頼)殿	堅紙	31.3×49.8 封50.3×29.6	折封、裏打	102C	134
72	(少式頼尚書状)[在庄指示]	(南北朝)9月23日	(少式)頼尚	相良兵庫允(定頼)殿 御返事	堅紙	28.7×40.0	裏打	111D	135
73	(少式頼尚書状)[招請]	(南北朝)10月28日	(少式)頼尚	相良兵庫允(定頼)殿	堅紙	28.8×44.6	裏打	110B	137
74	(少式頼尚書状)[警固指示]	(南北朝)12月11日	(少式)頼尚	佐牟田兵庫允(相良定頼)殿 御返事	堅紙	28.9×41.6 封41.8×27.8	折封、裏打	111D	138
75	(足利直冬御判御教書)[景福寺 領安堵]	貞和6年10月25日	源朝臣(足利直冬)(花押)		堅紙	33.2×49.0	裏打	120	139
76	(一色範氏感状)	観応2年10月5日	沙弥(一色範氏)(花押)	相良兵庫助(定頼)殿	切紙	15.9×25.5		111D	142
77	(一色道猷(範氏)書状)[受領転 任祝儀]	(観応3年)5月6日	道猷(一色範氏)(花押)	相良大隅守(定頼)殿	堅紙	31.3×49.2	端切封紐欠失	109B	144
78	(相良定頼讓状)	文和2年3月16日	大隅守(相良)定頼(花押)	ちやくし(嫡子)いやす丸とこ ろ	堅紙	31.4×49.5		107	145
79	(相良定頼書状)[成恒名兼名誓 約]	(南北朝)11月15日	(相良)定頼(花押)	成恒殿	堅紙	①30.4×41.7 ②30.1×41.3		102I	146
80	(一色範氏感状)	文和2年12月13日	沙弥(一色範氏)(花押)	相良六郎三郎(長氏)殿	切紙	14.8×21.7		111D	147
81	(一色範氏感状)	文和2年12月13日	沙弥(一色範氏)(花押)	相良六郎三郎(長氏)殿	切紙	14.7×21.6		111D	148
82	(足利尊氏袖判・一色範氏地頭職 宛行状)	文和4年4月5日	沙弥(一色範氏)(花押)、(足 利尊氏袖花押)	相良孫次郎(定長)殿	堅紙	31.7×43.7		111D	155
83	相良遠江守定頼同庶口(子)等為 一色殿御配分令拝領所領等注文	(南北朝)			続紙	①31.9×43.9 ②31.9×50.4 ③31.9×50.3 ④31.9×50.1	裏打、軸	102C	161
84	(足利義詮御判御教書)[官途挙 状]	延文2年9月25日	(足利義詮花押)	相良大隅前司(定頼)殿	堅紙	34.1×54.7	裏打	109B	163
85	(畠山直顕奉書)[領家職預置]	延文4年11月14日	治部大輔(畠山直顕)(花押)	相良遠江守(定頼)殿	堅紙	28.3×41.3	裏打	102C	165
86	(相良前頼・同氏頼(頼書)連署契 状)	正平23年8月5日	藤原(相良)氏頼(花押)、(相 良)近江守前頼(花押)	なかとミとの(永富殿)	堅紙	29.6×47.4		101	170

87	(征西將軍宮令旨)[所領安堵]	弘和3年4月14日	左中將(花押)	相良近江守(前賴)館	切紙	16.3×24.0	斐紙	102D	176
88	(菊池武朝施行狀)[所領安堵]	弘和3年4月14日	肥後守(菊池武朝)(花押)	相良近江守(前賴)殿	切紙	16.3×42.5	斐紙	102D	177
89	(征西將軍宮令旨)[肥前國守護職補任]	元中2年2月17日	左衛門佐(定有)(花押)	相良近江守(前賴)館	豎紙	35.3×49.0	全文一筆	102D	178
90	(征西將軍宮感狀)	元中2年2月17日	(征西將軍宮)	相良近江守前賴	豎紙	①33.0×47.2 ②33.2×47.2	包紙	111C	179
91	(後龜山天皇綸旨)[所領安堵]	元中2年10月10日	左中弁(花押)	相良近江守(前賴)館	豎紙	31.0×50.5 封49.4×29.8	宿紙、折封、裏打、包紙	102D	180
92	(後龜山天皇綸旨)[仙籍許可]	元中2年11月3日	右大弁(花押)	相良近江守(前賴)殿	豎紙	31.0×40.1 封39.6×30.0	宿紙、折封、裏打	109A	181
93	(征西將軍宮令旨)[感狀]	元中4年7月4日	右少弁(定有)(花押)	相良近江守(前賴)殿	豎紙	30.8×48.9 封49.4×30.0	折封、裏打	111C	182
94	(征西將軍宮令旨)[感狀]	(元中4年)7月4日	右少弁(定有)(花押)	相良一族等中	続紙	①16.0×46.6 ②16.0×16.1 封24.3×16.0	斐紙、折封	111C	183
95	(征西將軍宮令旨)[所領宛行]	元中4年7月11日	右少弁(定有)(花押)	相良近江守(前賴)一族等中	切紙	16.0×31.9 封23.5×15.4	斐紙、折封	102D	184
96	(征西將軍宮令旨)[感狀]	元中5年10月13日	右少弁(定有)(花押)	相良近江守(前賴)殿	切紙	16.0×29.2 封21.8×15.6	斐紙、折封	111C	185
97	(相良立阿(前賴)契狀)[多良木不競望誓約]	元中8年2月18日	立阿(相良前賴)(花押)	相良孫五郎殿	豎紙	30.5×42.6		102I	186
97(1)	(相良家江戸屋形普請銀子勘定書)	慶長11年8月13日	豊永五介(黒印)、犬童伝五(花押)	進上	豎紙	31.3×49.0	裏打	113A	905
98	(相良家江戸屋形普請銀子勘定書)	慶長11年8月13日	犬童伝五(花押)、豊永五介(黒印)		豎紙	31.2×48.2	裏打	113A	906
99	(沅西堂書狀)[椎葉山支配祝賀]	(明暦2年)5月10日	沅西堂(花押)	相老州(相良頼寛)様 拜上	切紙	20.0×55.4		102H	948
100	(沅西堂書狀)[椎葉山支配祝賀]	(明暦2年)7月26日	沅西堂(花押)	老岐守(相良頼寛)様	折紙	31.5×44.9	包紙「子ノ段 一、頼寛公江長次郎君御書翰一通 一、頼寛公江熊本領主書翰一通 一、頼寛公江曾我又左衛門書翰一通 一、頼寛公ヨリ御家臣江之御書一通 合五通老包」	102H	949

101	(相良長武(頼喬)書状)[椎葉山住人評定所召出]	(明暦2年)8月11日	相良長次郎長武(花押)	(相良)頼寛様参人々御中	折紙	33.9×48.5		115C	950
102	(曾我近祐書状)[木綿礼状]	5月4日	曾我又左衛門尉近祐(花押)	相良老岐守(頼寛)様人々御中	折紙	31.4×48.4	曾我近祐は万治年間に大坂町奉行	110E	964
103	(明窓院(相良頼寛室相良氏)消息)[頼喬息災]	10月22日	ば>(明窓院)より	さから長二郎(相良頼恭)殿まいる申給へ	折紙	34.2×49.6	裏打	126	969
104	(明窓院(相良頼寛室相良氏)消息)[頼喬女子誕生]	3月15日	ば>(明窓院)より	さから長二郎(相良頼恭)殿御返事まいる申給へ	折紙	34.2×49.7	裏打	126	970
105	(明窓院(相良頼寛室相良氏)消息)[佳例鮪樽進上]		明そう院より	さから長二郎(相良頼恭)様誰ニても御ひろふ	折紙	34.3×49.6	裏打、包紙「相良長次郎様江之御文三通」	126	972
106	御書案文	(慶長11年~15年)			縦帳	32.1×25.0		110I	902
107	御文書改之覚(江戸屋敷家作)		改人誰某		縦紙	35.3×49.4	包紙、紙袋「江戸御屋敷御家作帳面并絵図」(子107~110一括)	113A	
108	(相良家江戸屋敷指図)				図	116.0×124.0	裏打、紙袋(子107~110一括)	113A	
109	(相良家江戸屋敷建物指図)				図	50.1×34.6	裏打、紙袋(子107~110一括)	113A	
110	(相良家江戸屋敷建物指図)				図	44.3×29.8	裏打、紙袋(子107~110一括)	113A	
111	慶長拾一季丙午江戸御屋形作日記	慶長11年8月1日	犬童伝五(花押)、豊永五介(黒印)	進上(相良)頼安公様	縦帳	27.5×20.5	紙綴目毎に豊永五介黒印	113A	904

第一号函 丑

抽斗題箋「実長公、長統公、為統公、江州長每公、長祇公、義滋公、晴広公」

No.	表題	年月日	差出・作成	宛先	形態	法量	備考	分類	『相良』
1	(足利尊氏カ袖判御教書案)[軍勢催促]	建武3年2月4日	御判(足利尊氏カ)	相良兵庫允(定頼)殿	竪紙	27.0×43.3		111D	72
2	(妙雲書状)[軍事行動指示]	(暦応3年)6月25日	妙雲(花押)	相良兵庫允(定頼)殿	続紙	①26.5×36.8 ②26.5×37.0	裏打	111D	91
3	(筑後経尚奉書)[軍勢催促]	暦応3年9月20日	藤原(筑後経尚)(花押)	相良兵庫允(定頼)殿	竪紙	29.0×41.5		111D	100
4	(一色道猷(範氏)書状)[佐竹新藏人他界]	暦応5年3月27日	道猷(一色範氏)(花押)	相良兵庫允(定頼)殿 御返事	竪紙	①33.3×48.3 ②33.3×48.6	折封	111D	111
5	(一色道猷(範氏)書状)[進物礼状]	(南北朝)11月23日	道猷(一色範氏)(花押)	相良兵庫允(定頼)殿 御返事	竪紙	①33.0×51.2 ②32.9×51.1 封40.4×27.0	折封、裏打	110B	157
6	(一色道猷(範氏)書状)[進物礼状]	(南北朝)12月4日	道猷(一色範氏)(花押)	相良兵庫允(定頼)殿	竪紙	①33.0×50.9 ②33.0×50.7 封41.2×26.9	折封、裏打	110B	158
7	(一色道猷(範氏)書状)[敵方蜂起]	(南北朝)12月12日	道猷(一色範氏)(花押)	相良兵庫允(定頼)殿	続紙	①28.8×41.8 ②28.8×41.6 封36.1×25.1	折封、裏打	111D	159
8	(一色道猷(範氏)書状)[進物礼状]	(南北朝)12月17日	道猷(一色範氏)(花押)	相良兵庫允(定頼)殿 御返事	竪紙	①32.6×52.4 ②32.8×53.0 封41.2×26.7	折封、裏打	110B	160
9	(島津道鑑(貞久)書状)[軍忠認定]	(南北朝)6月9日	道鑑(島津貞久)(花押)	相良兵庫助(定頼)殿	竪紙	32.3×53.2 封53.2×30.9	折封	111D	169
10	(佐野盛貞書状)	(南北朝)6月29日	(佐野)盛貞(花押)	相良藤五郎(長統)殿人々御中	切紙	12.2×47.8 封24.1×10.0	斐紙、折封、裏打	111L	191
11	(菊池為邦書下)[当知行安堵]	宝徳3年4月1日	肥後守(菊池為邦)(花押)	相良(長統)殿	竪紙	31.3×45.5		102E	192
12	(相良長統田地目録)	宝徳4年閏8月11日	(相良)長統(花押)	豊永殿	続紙	①34.1×46.3 ②34.1×47.6	裏打、袖にも長統花押あり	108	193
13	(相良長統書状)[二見城情勢等]	(室町)3月16日	(相良)長統(花押)	藪田主計尉殿 御返事	竪紙	①30.6×37.4 ②30.6×38.0	現状紙継、裏打	111E	194